

電子基金

企業年金基金ニュース

No. 47

発行日 令和4年2月18日
発行者 電子情報技術産業企業年金基金
東京都千代田区岩本町3-5-5
岩本町三丁目ビル5階
(03-5809-3188)

企業年金基金の概況 (令和4年1月31日現在)

| | |
|--------|----------|
| 実施事業所数 | 187 社 |
| 加入者数 | 21,848 人 |
| 年金受給者数 | 459 人 |

1. 第9回 理事会・代議員会が開催されました

第9回 代議員会が1月21日（金）にWebにより開催され、企業年金基金令和4年度事業計画及び予算をはじめ、代議員会に先立って行われた第9回理事会で決定された議案について、ご審議いただき、議決・承認されました。

(議決事項)

(1) 令和4年度事業計画について

令和4年度の事業計画は、昨年度と同内容にて承認していただきました。
予算編成の基礎数値は以下のとおりです。
加入者数は、男子15,777人、女子5,772人、計21,549人と見込んでおります。
老齢給付・一時金給付は、令和4年度末で2,915人を見込んでおります。
各種ポータビリティ移換は、令和4年度末で107人を見込んでおります。

(2) 令和4年度予算について

年金経理の予算は、令和4年度掛金収入が11億3,329万円、年金・一時金の給付費が7億6,180万円。令和4年度末の年金資産（純資産）157億7,218万円と見込んでおります。
業務経理の予算は、令和4年度事務費掛金収入が1億8,101万円、業務会計の支出は事務費、代議員会費、機械処理経費等1億5,896万円と見込んでおります。
令和4年度の需用費が大幅に増えているのは、基金事務所の縮小に伴うレイアウト変更費用を計上しているためです。（賃借ビル建て替えが決定したため不要になりました。）

(3) 令和4年度年金資産運用計画について

新型コロナウイルス感染症による経済への影響はオミクロン株の発生など、いまだ不透明な状況です。現状株価は上昇基調にあるとはいえ、リスクの高い状況になっています。当面、令和4年度においても、現状の配分（国内債券35%、国内株式16%、外国債券12%、外国株式16%、代替資産20%、短期資産1%）を維持することといたします。
ただ一方で、米国株式は金利上昇による一時的な調整局面があるとしても、企業業績は好調なので、前回の代議員会にてご承認頂いた外国株式の新たなファンド（米国株式集中投資型ファンド・ベイリーギフォードグローバルコア型）を2億円組み入れます。
また、今後の状況を見ながら適切な時期を見て徐々に5億円まで増額することといたします。
外国株式の新たなファンドへ組み入れる資産は、外国株式パッシブファンドから振り替えますので、外国株式の総額は変わらず全体の資産配分に変更ありません。

(4) 規約変更について

- 年金数理関係書類の押印廃止の規約変更を行いました。
- 確定給付企業年金制度終了時に個人型確定拠出年金への移換を可能とする規約変更を行いました。

(5) 任意脱退について

ゼブラ電子株式会社（栃木県大田原市）、ダイヤゼブラ電機株式会社（大阪府大阪市淀川区）と株式会社日本システムテクノロジー（東京都江東区）より、退職金制度を確定拠出年金へ統一するため、令和4年3月31日付に任意脱退したい旨の申し出があり、承認いたしました。

(報告事項)

(1) 令和2年度第3四半期までの資産運用状況について

新型コロナウイルス感染症の状況は昨年から大きな変化がない一方、先進国でのワクチン接種が進み、米国ではコロナ後を見据えた景気回復局面に入ってきました。
その後のオミクロン株の発生やインフレを懸念したFRBの利上げ観測などにより、一旦は下落したものの、オミクロン株は重症患者の発生が少ないなど経済活動への影響は限定的との見方から外国株式は引き続き上昇基調となっています。
日本株は出遅れ、またオミクロン株発生により下落しましたが、その後回復しました。
国内債券は、引き続き低位で推移。為替は、円安が進みました。
12月までの収益は、米国株式の上昇が寄与し、12月末トータルで年度通期4.41%となりました。

(2) 規程の変更について

令和2年6月12日に公布された「個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律」（令和4年4月1日施行）への対応として、「個人情報保護管理規程」の一部を変更いたしました。

(3) 理事長専決処分結果について

前回の代議員会以降で、実施事業所について下記の変更がありました。

① 事業所の名称変更（2件）

田淵電子工業株式会社 ⇒ ゼブラ電子株式会社（R3.10.1変更）
田淵電機株式会社 ⇒ ダイヤゼブラ電機株式会社（R3.10.1変更）

② 事業所の所在地変更（1件）

株式会社アサカ 東京都日野市 ⇒ 埼玉県所沢市（R3.5.1変更）

③ 加入者の範囲変更（1件）

田淵電機株式会社 厚生年金保険の被保険者 ⇒
厚生年金保険の被保険者（令和3年9月30日時点でダイヤモンド電機株式会社に使用されていた者を除く。）（R3.10.1変更）

④ 休業中の取扱い変更（1件）

東亜エルメス株式会社 無 ⇒ 中断（R3.8.18変更）

このニュースは、事業主と事務担当者向けに編集してありますが、できれば各職場の皆様にもご覧いただけるようご配慮願えれば幸いです。

(4) 第2期代議員・理事補欠選挙結果及び事業運営委員の任命について

第2期互選代議員に1名、互選理事に2名の欠員が生じておりましたので、選挙を執行することとしておりましたが、代議員立候補者数及び理事立候補者数が選挙すべき代議員・理事数を超えないため、無投票により島田理化工業株式会社の森澤隆範様が当選いたしました。

また、理事長より併せて事業運営委員に任命されました。

(任期は令和6年1月19日迄です。)

(5) 基金事務所について

現在のビルのオーナーより、ビルの建て替えにあたり2024年3月末までに退去するよう申し入れがありました。

厚年基金の清算は既に終了し、職員数等からみて過剰な床面積となっていることから、70坪程度で物件を探すことといたします。

※ なお、この第9回理事会・代議員会の詳しい内容については、3月下旬に発送予定の機関紙「基金だより第8号2022.3」に掲載いたします。

2. 基金業務スケジュールについて

令和 4年 2月分の届書の締切日

令和 4年 3月10日 (木)

令和 4年 2月分掛金納入告知書等発送日

令和 4年 3月18日 (金)

ご不明な点等ございましたら、業務課（電話：03-5809-3189）までご連絡ください。

《電子基金の業務時間》

新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減、感染拡大の防止等の観点から当面の間、下記のようにさせていただきます。

平日:午前10時～午後4時(土日・祝日はお休みとなっております。)

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。